

帯広市立柏小学校

学校便り

開校 大正9(1920)年



かしわ

令和3年 2月 17日(水) 発行

No. 24

Obihiro Kashiwa Elementary School



柏小学校 教育の目標

強い心と体でねばり強くやりぬく子ども
確かな知識でよく考える子ども
明るくきまりよい子ども
心豊かで思いやりのある子ども

<令和2年度 学校評価について>

学校が自らの教育活動を振り返る学校評価。今年度は12月に教職員、保護者、児童による3者の自己評価をもとに実施しました。今年度の保護者アンケートの回答率が89.9%となり、保護者の皆様の学校教育への高い関心と意識の表れと感謝しております。今回の結果は、下記のようになりました。項目によっては、3者のとらえ方が非常に似通っていたり、差が生じたりしました。保護者の意見を大切にしつつお子さんの健やかな成長のサポートができるよう、職員で情報の共有やコミュニケーションに努めていきます。そのため、①自己肯定感 ②いじめ防止 ③情報発信 を今年度の更なる重点とし、今後の経営に生かしていきます。

令和2年度 学校評価と保護者・児童アンケートの比較

(A十分=5、Bどちらかといえば十分=4、Cどちらかといえば不十分=2、不十分=1で換算)

No		職員の自己評価 (保護者アンケート)	教職員	保護者	児童	児童アンケート
未来へと確実に進歩するわたしたち柏小学校 新しい時代を切り拓く人の育成	1 学年・学級	学校経営方針の具現化を踏まえた学年・学級経営案に基づきながら、共感的児童理解のもと、児童が自尊心を高め、自己有用感、安心・安定感をもつ経営に努める。 (お子さんは学級や学校でよさが認められている。)	3.8	4.2	3.6	自分のよいところがある。
	2 教育課程	三つの側面を重視したカリキュラム・マネジメントにより、学力の向上やシチズンシップの育成を図る。社会に開かれた教育課程の編成・実施・評価・改善に努める。	3.9			
	3 教科指導	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開し、学力の向上、シチズンシップの育成を図る。 (お子さんは学校で楽しく学び、「できた」「わかった」を実感している。)	3.9	4.0	4.1	学校の勉強は、楽しくわかりやすい。
	4 生徒指導	保護者・地域・関係機関と連携し、深い児童理解と信頼関係に基づく生徒指導の充実を図る。 (学校は子どもや保護者の悩みを相談しやすい雰囲気づくりに努めている。)	3.8	4.1	3.7	困ったとき、先生に相談しやすい。
	5 道徳教育	考え、議論する道徳科の授業をつくり、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。 (学校はいじめの防止に向けて積極的な指導をしている。)	3.5	4.0	4.5	いじめは絶対にしていない。
	6 健康安全	絶えず危機意識をもって児童の生命を守り、家庭・地域と連携しながら、自ら健康安全に努めようとする習慣や態度の育成に努める。 (学校は感染所等に対応した手立てや指導を行っている。)	4.1	4.2	4.7	新しい生活様式で、熱をはかったり手洗いたたりして気を付けている。
	7 外国語教育	外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育てる。 外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育てる。	4.1			
	8 地域連携	保護者や地域と目指す子ども像を共有した「地域とともにある学校」の実現に努める。 (ホームページや学校だより、学年学級通信などで、学校の方針や取組が伝わっている。)	3.3	4.3		
	9 その他	説明責任を果たす学校公開に努めると共に、危機に適切に対応できる学校をつくる。同時に、職責を自覚し高い倫理観で不祥事の未然防止を図るなど、信頼される学校づくりに努める。	4.1			

